



－ v6.0.1 変更点について －

NTTアドバンステクノロジー株式会社

はじめに

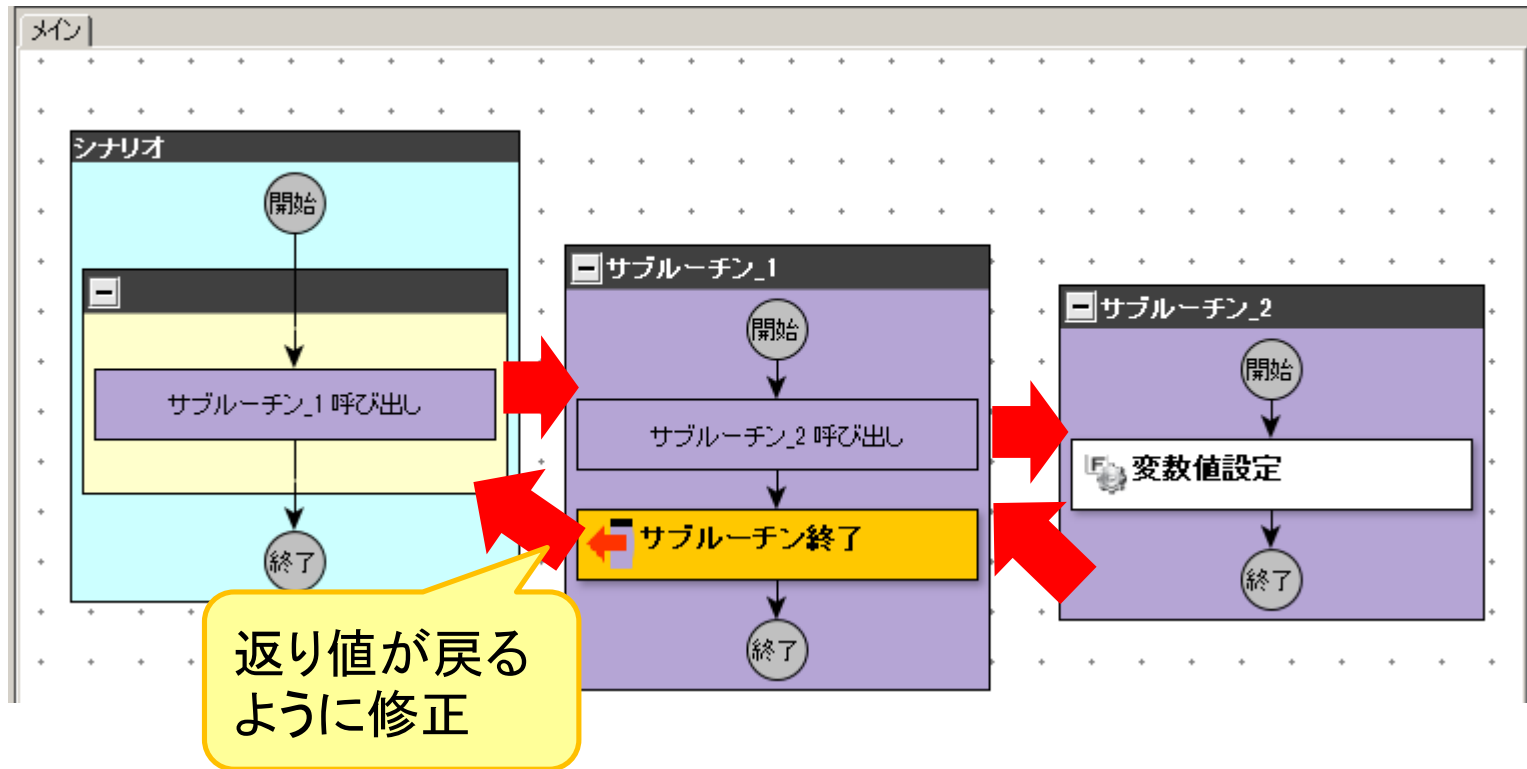
■ v6.0.1で変更になったことについて解説いたします。

・不具合対応・・・不具合の修正を行っています。

不具合対応：サブルーチン戻り値に関する不具合

サブルーチン1からサブルーチン2を呼び出すと、サブルーチン1の戻り値がメイン処理に戻せない不具合を修正しました。

※発生条件は3～4ページを参照

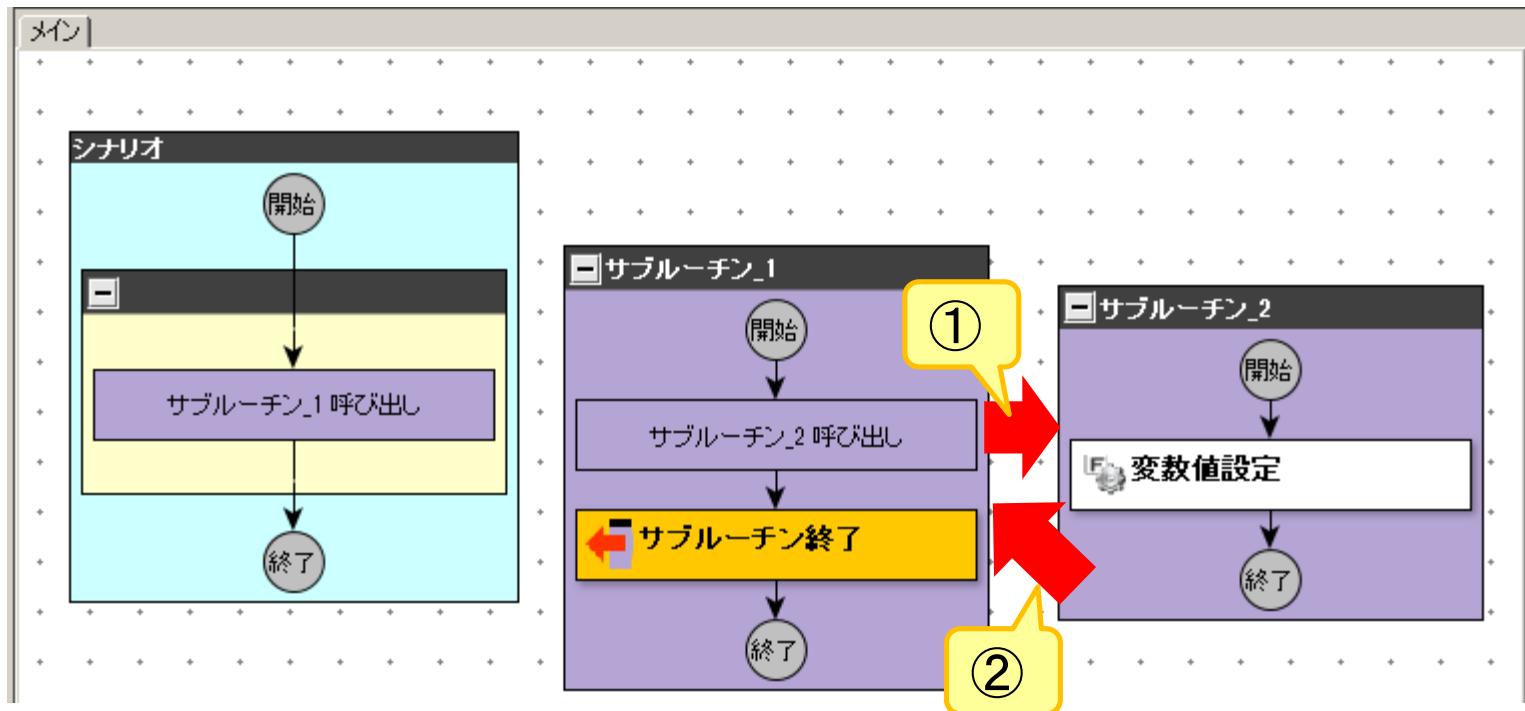


不具合対応：サブルーチン戻り値に関する不具合

■発生条件1

下記①②の両方の条件を満たす場合

- ①サブルーチンの中でサブルーチンを呼び出している。
- ②呼び出し先(サブルーチン_2)で「サブルーチン終了」を使用せず、呼び出し元(サブルーチン_1)への戻り値が存在しない。

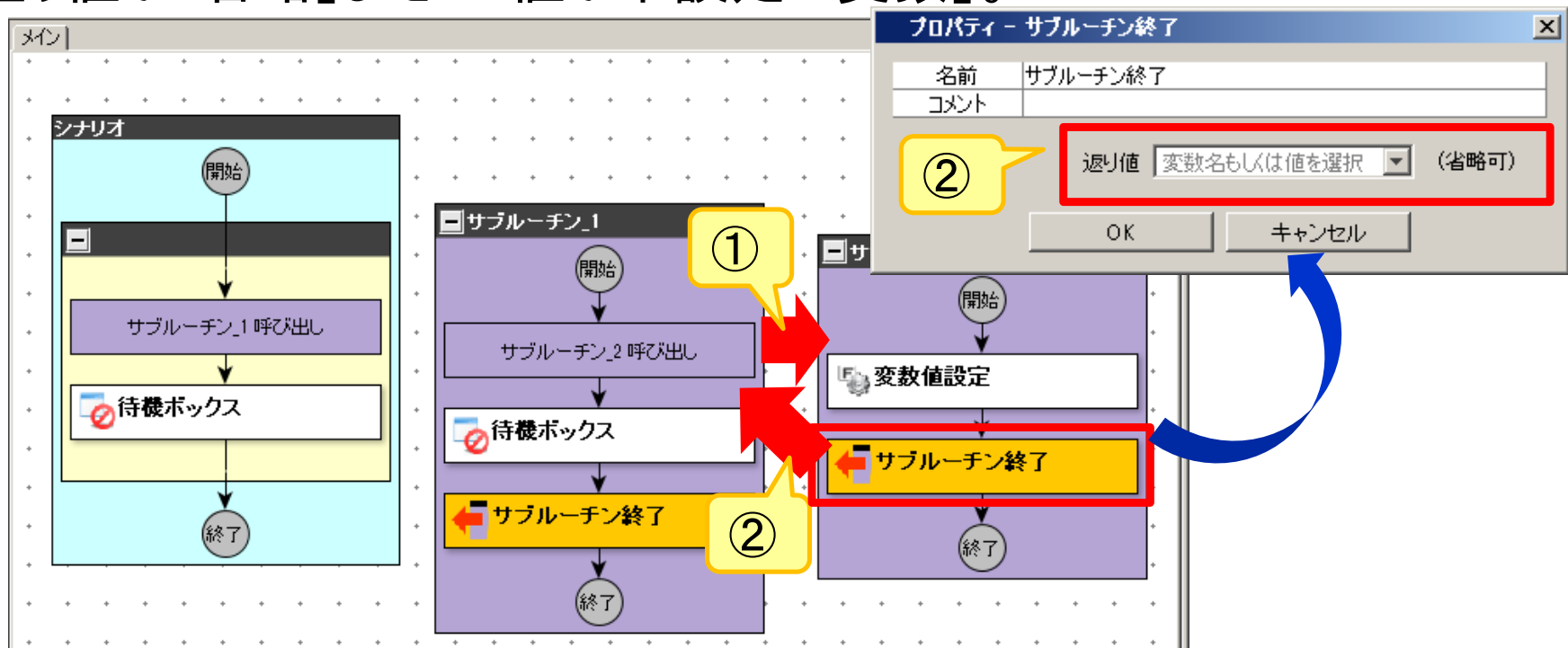


不具合対応：サブルーチン戻り値に関する不具合

■発生条件2

下記①②の両方の条件を満たす場合

- ①サブルーチンの中でサブルーチンを呼び出している。
- ②呼び出し先(サブルーチン_2)から、呼び出し元(サブルーチン_1)への戻り値が「省略」または「値が未設定の変数」。



WinActor v6.0.1 変更点について

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright(c) 2013-2019 NTT Corp. & NTT Advanced Technology Corp. All Rights Reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。
本書の内容は予告なく変更される場合があります。

64-F-0611